

## 地本勤務での経験が自分自身の成長に繋がった！



臨時勤務中の松本陸士長

自衛隊神奈川地方協力本部上大岡募集案内所（所長 平原1陸尉）において約1ヶ月間臨時勤務をした松本陸士長から報告を受けた。

「私は、2月1日から2月28日までの間、神奈川地方協力本部上大岡募集案内所で臨時勤務をしました。上大岡募集案内所は、私自身が3年前に通っていた場所であり、当時の私の担当だった広報官（森田2陸曹）とも勤務をご一緒できたので、何だか感慨深かったです。約1ヶ月間の臨時勤務では、市街地広報として上大岡駅前で「自衛隊募集」と書いてあるリーフレットを入れたティッシュ配りや、地域イベントの「横須賀ふれあいフェスタ」や「潜水艦イベント」等にも参加しました。どれも初めての経験だったので、印象深かったです。

私は、募集広報としてイベント参加時は制服姿で自衛隊をPRし、採用年齢引き上げのお知らせが入ったティッシュ配りや、子供達にグッズを渡す等して、多くの方々に「応援しています」「頑張ってください」等と激励の声を掛けていただき、また子供達と写真撮影をするなど、地域の皆さんと触れ合うことができてとても嬉しかったです。

潜水艦見学では、横須賀米軍基地で潜水艦「こくりゅう」の見学や、米軍基地の中にあるフードコートでの昼食等、貴重な体験ができました。

普段は松戸駐屯地で「通信」の任務に就いていますが、この約1ヶ月間は地本勤務ということで、陸上自衛隊だけでなく、海・空の基地へ行けたり、地域の人と関わったりと前よりも見聞が広がり自分自身の成長に繋がりました。

陸曹候補生の試験に合格し、陸曹になったら、また神奈川地本で勤務したいです」

上大岡募集案内所は、「臨時勤務制度を有効活用し、防衛省・自衛隊のPR及び今後の募集成果に繋がってほしい」としている。

## 横浜市で大学で合同企業説明会始まる



「自分探し」のため広報官の説明に聞き入る学生達  
(左：関東学院大学 右：横浜市立大学)

自衛隊神奈川地方協力本部上大岡募集案内所（所長 平原1陸尉）は3月7日（木）、横浜市の関東学院大学及び横浜市立大学で行われた合同企業説明会にブースを出展した。

関東学院大学では52社、横浜市立大学では37社の企業がブースを出展しており、多くの学生が学内で行われるこの説明会でチャンスをつまみと目を輝かせながら、それぞれのブースに向かっていた。

防衛省・自衛隊のブースにも多くの学生が訪れ、広報官がパンフレットやビデオ等を使用しながら説明した。学生は陸・海・空自衛隊の仕事内容、特に災害派遣や国際平和維持活動等に興味を示し、現場で活躍する部隊の説明を熱心に聞いていた。

当初、緊張していた様子の学生も、広報官から訓練や生活面等の具体的な話になると、椅子から身を乗り出して話に聞き入っている姿が印象的だった。

学生からは「自衛隊と民間の違いは何ですか」「職種を詳しく教えて下さい」等、積極的に聞いてくる姿にとっても興味を持っていくことが窺えた。

最後に学生から「今まで自衛隊の事はあまり知らなくて、仕事内容も漠然としていたが、活動状況がよくわかり参考になりました」と話してくれた。

上大岡募集案内所は、「今後も密に学校側と連携し、このような合同企業説明会に継続して参加し、防衛省・自衛隊のPR及び募集成果に繋がってほしい」としている。

## 地域の防災行事に神奈川地本も協力！～第4回 防災スマイリングフェア～



自衛隊ブースを訪れた子供達

自衛隊神奈川地方協力本部上大岡募集案内所（所長 平原1陸尉）は、3月10日（日）岡村公園多目的広場（横浜市磯子区）で実施された、岡村地区連合町内会と岡村公園主催の「第4回防災スマイリングフェア」に参加した。

このイベントは、同地区で4年前から地域で防災意識を高め、更には地域活性化に繋がりたいと毎年行われており、ここでの体験を通じて災害に備えようと地域の人達に呼び掛け、自衛隊も依頼を受けて参加している。

当日は天気に恵まれ、地元の方々等約500名が集まり、同所も自衛隊ブースとして災害派遣のパネルや非常用糧食等を展示説明するとともに、ビデオ放映等を行った。

自衛隊ブースを訪れた人からは、「迷彩服がカッコいい」「自衛隊さんが近くにいるとは知らなかった」等の声が聞かれ、また、ビデオ放映を真剣に見ている多くの人達の姿が印象的だった。

上大岡募集案内所は、「今後もこのような地域行事に積極的に参加し、自衛隊の活動をアピールするとともに、地域の方々の協力関係を継続的に構築していき、災害に備えるとともに、ひいては募集成果に繋がってほしい」としている。